

b 地域の特性を生かした学習に関する見学・体験学習プログラム

県北浄化センター・県北メガソーラー発電所・北芝電機株式会社に係る見学・体験学習プログラム		
作成推進校	福島県立福島高等学校	
対象児童・生徒	第一学年	
事前学習	計画	<ul style="list-style-type: none"> ○書籍、インターネットを利用して事前の調査を行い、下水処理や太陽光発電の仕組みと、その特徴を知る。 ○水力発電におけるタービンと変圧器の役割を学ぶ。 ○メタンガス発電と太陽光発電の特徴を調べ、疑問点をまとめる。 ○各自で見学のテーマを設定し、目的を明確にして見学に臨む。
	期待できる成果	太陽光発電に関する見学を行い、その後にタービンと変圧器の製造について学ぶことで、再生可能エネルギーを幅広く捉えることができる。
見学・体験学習	計画	<ul style="list-style-type: none"> ○浄化センター 下水処理の仕組みを知り、汚泥の活用やメタンガスによる発電について学ぶ。 ○メガソーラー 太陽光発電の仕組みを知り、ソーラーパネルの大きさを目で見ることが出来る。 ○北芝電機 タービンと変圧器の役割と製造工程を見学し、発電設備の製造について知る。
	期待できる成果	設備の規模を間近で体験することができる。質疑応答を通して、自分のテーマの疑問点を解決し、より高度な観点から再生可能エネルギーを捉えることができる。
事後学習	計画	<ul style="list-style-type: none"> ○当日の質疑応答の結果や写真などを盛り込んで各自がレポートにまとめる。 ○班ごとにパワーポイントにまとめ、全体で発表を行い、各訪問先で得られた情報の共有を行う。 ○SSH校内研究発表会で発表を行い、保護者や地域の方々、他校との生徒達との意見交換を行う。
	期待できる成果	生徒一人ひとりが、今後のエネルギーの在り方について考える契機となり、意見をまとめて発表することで、学習をより深めることができる。